

履 歴 書 記 載 上 の 注 意

1 学 歴

- (1) 高等学校以降のすべてについて記載すること。(中退, 退学を含む。)
- (2) 看護師免許, 学位, 研究生, 専攻生等についても記載すること。

【記載例】

年 月 日	学 歴
昭和〇. 〇. 〇	△△高等学校卒業
〇. 〇. 〇	△△看護専門学校卒業
〇. 〇. 〇	看護師免許取得 (登録番号 第△△△△号)
〇. 〇. 〇	△△大学△△学部△△学科編入学 (△学年)
〇. 〇. 〇～〇. 〇. 〇	△△大学△△学部△△学科卒業
〇. 〇. 〇～〇. 〇. 〇	保健師免許取得 (登録番号 第△△△△号)
平成〇. 〇. 〇～〇. 〇. 〇	△△大学大学院△△学研究科修士課程修了 △△学修士
〇. 〇. 〇	△△大学大学院△△学研究科博士課程修了 △△学博士

2 職歴, 研究歴

- (1) 職歴のすべてについて記載し, 職名, 地位等についても明記すること。
- (2) 外国留学, 外国出張は, 国名, 受入れ機関名, 受入れ身分等を記載すること。

【記載例】

年 月 日	職 歴 ・ 研 究 歴
昭和〇. 〇. 〇～〇. 〇. 〇	△△病院看護師 △△病棟
平成〇. 〇. 〇～〇. 〇. 〇	△△大学△△学部 講師 「△△看護学概論」, 「〇〇実習」
〇. 〇. 〇～〇. 〇. 〇	〇〇大学 〇〇学部 非常勤講師
〇. 〇. 〇～現在	〇〇大学〇〇学部 准教授 「〇〇看護学概論」, 「〇〇実習」

3 学会及び社会における活動等

- (1) 本人の専攻, 研究分野に関連した事項についてのみ記載すること。
- (2) 学会活動は, 主なものについて記載すること。

【記載例】

年 月	学会及び社会における活動等
昭和〇. 〇	△△△△学会会員
平成〇. 〇 ～ 〇. 〇	△△△△学会評議員
〇. 〇 ～ 〇. 〇	△△△△学会雑誌編集委員

教育, 研究についての実績及び抱負

教育, 研究についての実績及び抱負について記載すること。

業績目録記載上の注意

- 1 業績は、著書、学術論文及び学会発表とすること。
- 2 業績は、古いものからすべて記載すること。
- 3 欧文、和文に分けて、年月日順に古いものから順に番号を付して記載すること。なお、それぞれ1題ごとに1行ずつ間をおくこと。
- 4 本人の氏名を含め、著作者全員の氏名を当該著書、学術論文に記載された順に記載すること。また、本人の氏名にアンダーラインを付すこと。
- 5 記載項目及び項目順序については、記載例を参照すること。
- 6 著書
 - (1) 「著書名」は、例えば内科診断叢書のうちの“呼吸器病の診断”という場合は、その旨明記すること。
 - (2) 共著の場合は、共著者名をすべて記載すること。ただし、医学叢書の場合は、自己の担当部分のみでよい。
- 7 学術論文
 - (1) 発行されているものはその雑誌名、巻及び発行年を記載し、発表が予定されていなくても受理されていれば in press として記載してもよい。
 - (2) 学術発表を主とすると考えられる雑誌に発表したもののみとし、製薬会社や医療機器等のPR誌と考えられるもの及び一般大衆誌に発表したもの等は除くこと。
 - (3) 発表誌名の略名は、例えば“日本感染症学雑誌”ならば“日感染症誌”のように、その雑誌規定の略号（表紙に記入してあるものが多い。）がある場合にはそれを用いること。
外国雑誌の場合は、例えば“American Review of Respiratory Diseases”ならば“Am Rev Resp Dis”となる。ただし、規定の略号のない場合は、フルネームあるいは慣例と考えるものを用いること。
 - (4) 学位論文がある場合は、これを明記すること。
 - (5) 原著、総説等については欧文原著、欧文総説、和文原著、和文総説等それぞれ種類別に分けて記載すること。
 - (6) 本人が Corresponding Author となっているものには、番号の後ろに「C」を付すこと。
 - (7) 主要なもの10編には、番号の後ろに「#」を付し、別刷を一部ずつ添付すること。
 - (8) 別刷には、業績目録と照合しやすいように鉛筆で業績目録の番号をつけること。
- 8 学会発表
 - (1) 学会発表は、特別講演、シンポジウム、パネル、一般演題の主要なもの等について記載すること。
 - (2) 本人が筆頭発表したものには、番号の後ろに「*」を付すこと。
- 9 記入上の注意
記入に当たっては、パソコン等又は楷書で鮮明に書いてください。
なお、外国語は、必ずパソコン等で記入してください。